



# 住民満足度調査の結果をお知らせします。

町では、第5次長期総合計画が平成30年度に終わることから、現在「第6次長期総合計画」を策定しています。策定作業の一環として、町の施策に対する住民満足度調査を今年5月に実施しました。この調査は2年に一度実施していますが、今回は満足度調査の項目に加え、長期総合計画策定のために「まちの将来像」「人口減少への対応」「今後の土地利用」などの設問も加えています。その結果をお知らせします。



## ～住民満足度調査～

調査対象：町内在住18歳以上のかた1,500人（無作為抽出）  
 実施期間：平成29年5月15日～31日  
 調査方法：調査票を郵送し、返送用封筒により郵送提出  
 回収結果：559人（回収率37.3%）  
 満足度調査：現在、町で実施している施策についての満足度を聞いています。  
 満足度採点 5点（満足）・4点（やや満足）・2点（やや不満）・1点（不満）  
 必要度調査：現在、町で実施している施策の今後の必要性について聞いています。  
 必要度採点 5点（充実拡大）・4点（現状維持）・2点（少し減らす）・1点（あまり必要ない）

調査結果は全回答採点の平均により表しています。「わからない」の回答は集計に含めていません。また、前回住民満足度調査（平成28年2月実施）との比較も示しました。

表A：各政策分野の必要度と満足度

分野	政策分野	満足度平均点	前回の結果	必要度平均点	前回の結果
I	生活環境に関する施策	3.3	3.4	4.2	4.2
II	健康・福祉に関する施策	3.5	3.4	4.3	4.4
III	都市・街づくりに関する施策	3.2	3.5	4.3	4.3
IV	産業・観光に関する施策	3.1	3.2	4.2	4.3
V	教育・文化に関する施策	3.2	3.5	4.3	4.3
VI	役場に関する施策	3.4	3.4	4.2	4.4
	全体平均	3.3	3.4	4.3	4.3

●表の中で色が付いた欄は、施策満足度が平均(3.3点)より低いことを、また、色数字の数値は前回集計結果より低くなっていることを表しています。

表B：今後、重点的に取り組むべき(必要度は高いが満足度が低い)施策ランキング

	施策(必要度の高い順)	満足度平均点	必要度平均点	満足度/必要度
1	空き家対策の推進	2.3	4.3	0.53
2	安全で便利な道路の整備と維持管理	2.8	4.6	0.61
3	都市施設・公共交通の充実	2.9	4.2	0.69
4	学校施設・サービスの充実	3.2	4.6	0.70
	広域行政の推進	3.1	4.4	0.70
5	企業誘致の推進	3.1	4.4	0.70
	観光と地場産品の振興	3.1	4.4	0.70
6	公民館・図書館の充実	3.1	4.3	0.72

●満足度/必要度は、必要度の高い施策に対する満足度の割合です。この値が低いほど、今後特に重点的に取り組むべき施策といえます。

## 分野I：生活環境に関する施策

No.	調査項目(施策内容)	役場の主な取り組み(施策や事業の概要)	満足度平均点	前回の結果	必要度平均点	前回の結果
1	地域コミュニティの活性化	集会所の建設、協働のまちづくり事業交付金(地区活動に対する補助)の推進、集会所・生活センターの維持管理や活用の推進など	3.4	3.4	3.9	3.9
2	環境美化の推進	町内一斉清掃実施、不法投棄の監視、リサイクルステーションの設置、衣類等・小型家電の回収、生ごみ処理機購入の助成など	3.5	3.5	4.2	4.2
3	交通安全・防犯対策の充実	交通安全指導隊による交通安全指導、街路灯のLED化やカーブミラーの設置、防犯指導隊や各地区防犯ボランティアの活動の充実など	3.2	3.4	4.4	4.4
4	空き家対策の推進	空き家の実態把握調査、空き家バンクの整備検討など	2.3	2.8	4.3	4.4
5	消防防災体制の充実	消防団の活動支援、自主防災組織の育成強化(防災倉庫など)	3.7	3.7	4.2	4.3
6	災害対策の充実	戸建て木造住宅の耐震診断・改修助成、防災マップの作成、スクールゾーン内通学路の危険ブロック撤去補助事業など	3.2	3.3	4.4	4.5
7	わかりやすい情報公開の推進と情報共有	広報おおがわら・おしらせばんの発行、ホームページによる情報発信、メール配信サービスなど	3.8	3.7	4.1	4.3
8	広域行政の推進	ごみ処理・消防・介護などの広域行政事務処理、みやぎ県南中核病院の運営、一目千本桜の観光連携など	3.1	3.5	4.4	4.3
9	まちづくりへの住民参加の推進	パブリックコメント(意見公募手続)の実施、住民懇談会の実施、NPOなど住民グループの活動に対する支援など	3.1	3.2	4.0	4.1

## 分野II：健康・福祉に関する施策

No.	調査項目(施策内容)	役場の主な取り組み(施策や事業の概要)	満足度平均点	前回の結果	必要度平均点	前回の結果
10	健康づくりの推進	健診・予防接種の実施、健康教室の開催、特定健診(メタボ健診)など	3.9	3.8	4.3	4.3
11	医療体制の充実	仙南夜間初期急患センターの開設、休日当番医制度の維持、みやぎ県南中核病院の機能強化と運営費負担など	3.5	3.6	4.3	4.4
12	子育て支援の充実	18歳までの医療費無料化(所得制限なし)、ファミリー・サポート・センターの設置、保育所・児童クラブ・子育て支援センターの運営など	3.7	3.5	4.3	4.3
13	福祉の充実	地域包括支援センター運営事業、ミニデイサービス事業、介護サービス・保険制度の運営、障がい者福祉サービスの提供および助成制度(タクシー利用料、医療費)、福祉委員・民生委員の充実、生活保護相談など	3.3	3.2	4.4	4.4
14	保険制度の充実	国民健康保険・後期高齢者保険制度の運営など	3.3	3.4	4.3	4.3

●表の中で色が付いた欄は、施策満足度が平均(3.3点)より低いことを、また、色数字の数値は前回集計結果より低くなっていることを表しています。

は、満足度の低い「空き家対策」の推進、「安全で便利な道路の整備と維持管理」「都市施設・公共交通の充実」の順になっており、都市整備面の強化が特に求められています。その他、学校施設関係、産業関係の施策を重点的に取り組むほか、「広域行政の推進」が前回に比べ関心が高くなっています。

### 施策分野別にみた傾向

次に、施策の分野ごとに見ていきましょう。

**I. 生活環境に関する施策(質問項目No.1～9)**

満足度が下がっている項目が目立ちます。とくに「空き家対策の推進」は全体でも一番低い数値となっています。

空き家対策は、実態把握調査を進めています。これから対応策を検討していく段階です。評価につながっていないものと考えられます。「広域行政の推進」が0.4ポイント下がっています。町単独での解決が困難な課題が多くなるなか、連携を強めていくことが求められています。

**【自由意見抜粋】**

「空き家、空き地の有効活用を考えてほしい」「動物の糞尿の対策」「集会所等の活用を柔軟に」「防犯メール登録の普及」「災害非常時の緊急連絡方法の工夫」「仙南の中心という土地にあぐらをかいてまちづくりが遅れている」「気軽に意見、提案のできる窓口の設置」「町の取り組みが見えない」

**II. 健康・福祉に関する施策(質問項目No.10～14)**

満足度が上がっている項目があり、平成28年度の施策からすると0.2ポイントアップの「子育て支援の充実」は18歳以下子ども医療費無料化などの施策、0.1ポイントア

い、もっと情報発信すべき」など

### 全体的傾向(前回との比較)

全体(表A)の政策分野別の満足度では、「健康・福祉」だけが0.1ポイント上がりましたが、ほか政策分野は0.1～0.3ポイント下がっています。特に、「産業・観光」がさらに低い数値になり、また「都市・街づくり」「教育・文化」は0.3ポイントと大きく下がっています。

「わからない」の回答は集計に含めていません。また、前回住民満足度調査(平成28年2月実施)との比較も示しました。

ついでです。「わからない」の回答が多くあり、相対的に満足度が低くなった施策もありました。町の施策の現状を幅広く発信していく必要があります。必要度は、全政策分野で4.2～4.3点の数値であり、まちの施策に対して全般的に現状より充実を求めている傾向となっています。